

「科学コミュニケーション活動案の募集」

日本免疫学会は、「免疫ふしぎ未来」と銘打った科学コミュニケーション活動を進めて参りました。毎年ニュースレターで報告しているのですがこの活動についてはご存知の方も多いと思います。この活動は、JSIの科学コミュニケーション活動「免疫ふしぎ未来」のイベントとして2006年から、お台場の科学未来館で毎年開催してきました。「免疫ふしぎ未来」は、一般の来場者は2000人超/日、説明員としてのボランティアを含め免疫学会からの参加者も100人以上/日という大きなイベントとして行われております。

一方、それ以外の活動としては、年に数件程度の地方における催しを開催し、こちらに対しても支援を継続しています。例えば、2017年は、北大の高岡先生に開催していただいた幼稚園への出張講義（からだをまもるんじゃー）などです。本イベントに対し、地元では大きな反響がありました。地方から「免疫ふしぎ未来」への参加は難しい場合も考えられますので、科学コミュニケーション委員会としては、上記のような地方でのイベントに対する支援も強化したいと考えております。

つきましては、すでに2018年度に計画されています科学未来館で行う展示・体験型イベントとあわせ、科学未来館とは別の、全国各地に展開した独自の企画を募集したいと存じます。

以下、応募の要領です。

- 1) 提案は、「企画書」として文書（A4 1~2 ページ）で提出して下さい。書式は自由とします。
具体的に、時期、規模、必要な経費などを記載してください。
- 2) 上記文書は、「科学コミュニケーション活動の提案」という件名のメールに添付の形で、免疫学会事務局宛（下記メールアドレス）に、送って頂ければと思います。
日本免疫学会事務局 < info@meneki.or.jp >
- 3) 締め切りは **2018年5月7日**とします。

4) 今回は、2018年9月末までに実行できる企画を募集します。免疫学会の会計年度が10月から翌年の9月末なので、今年度分のイベントということになります。提案者がリーダーシップをとって進めて頂くような企画が望ましいですが、アイデアだけでもOKです。2018年度は調査あるいはテスト施行、2019年度に実施という計画で、調査費/試行費だけを申請でも結構です。

支援企画数：1-3件（予算枠に伴い3件に至らない場合もあります）

予算額：10~15万円程度

5) 提出された企画は、科学コミュニケーション委員会で審議し、支援対象となるかを決めさせていただきます。

なお、科学コミュニケーション活動は、広報活動と少し異なり、「研究者と一般市民の対話」という双方向性が大切です。一般的には展示・体験型イベントや、サイエンスカフェ、出張講義などが含まれます。大規模な講演会やHPでの一方向性の発信、出版物の刊行などは、原則的には科学コミュニケーション活動には含まれませんので、ご注意ください。

科学コミュニケーション委員会

委員長 久保允人